



友達の輪から  
世界の和へ

## 国際交流フェスタ 2009

とき 10月18日(日) 11:00~15:00 ところ 南部梅郷公民館

実行委員長 東原 聖二

昨年のフェスタは市役所が会場で、この時は同じ敷地内の文化センターで「農業祭」がひらかれていましたので、その「流れ」もあってお客様が大勢来てくれました。しかし、今回は南部梅郷公民館での単独行事としましたので「さて、お客様は集ってくれるだろうか」と大いに心配し「200名も集まれば御の字だ」と踏んでいました。

ところが、ふたをあけてみますと、晴天にもめぐまれたのか、入場者数は350余名にもものぼり、当方が用意

しました「500皿」分の料理は、有料にしたにもかかわらず、またたくまに完売となるほど活況を呈した大いに盛りあがったフェスタとなりました。私達一同、大いに安堵した次第です。

これはひとえに、行事への参加団体、出演者の皆様方、協賛企業の各社、さらには会場を提供いただいた南部梅郷公民館等々、大勢の人達の御協力のたまものであります。深く感謝申し上げます。

今後とも、国際交流の発展のために御尽力いただければ幸いに存じます。



## ★ 外国人の日本語スピーチ

● 長井 エルビーラ (フィリピン出身。日本語スピーチ発表)

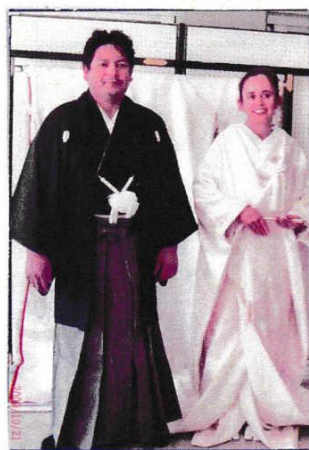
わたしははじめて日本語のスピーチをやりました。すぐきんちょうしました。ほんとうにハートがどきどき、はずかしかった。そのときはスピーチがすぐおわらないかとかんがえました。リハーサルするとき、せんせいのコメントはちよつとむずかしいだからいつもしんぱいです。がんばるしかない。でもスピーチがおわったら、せんせいが「おっけい」といいました。わたしのおとうさんもだいじょうぶだといいました。すぐしあわせです。うれしいきもちでした。日本語のはなしのこともみなの前ではまたべんきょうになりました。日本語のきょうしつへいってよかったとおもいます。じぶんじしんのすこしだけじしんがつかしました。これからももっともといっぱいべんきょうします。がんばります。



日本語スピーチの皆さん

## ★ 外国民族衣装

## ★ 和服体験



● 坂本 きよ子 (韓国衣装体験コーナーを担当)

世界には色々な民族衣装があり、その国の歴史や特徴、誇り等々が表されていると思います。韓国語講座を受講する様になり、青戸先生のおかげで「チマチョゴリ」を身近に見たり、手にしたりする事が

来たときは、とても興奮しました。あのサラサラした布の感触、色の組み合わせ、裾の長いドレスにも似たチマ、組紐の飾り、女性なら着てみたいと思うでしょう。衣装の係をして思うのですが、みなさんの着る前の不安と期待の入り交じった表情、着た時の満足した嬉しそうな表情が印象的です。今年も10代から60代?のチマチョゴリを着た方々が晴れた公民館の庭で楽しそうに写真に納まっていました。それぞれの国の民族衣装をお互いに大事にして、国と国との交流に繋がればすてきですね。

● 矢野 ウェリントン (ブラジル出身、奥さんの打掛姿にうっとり)

国際交流フェスタに家族4人で参加してきました。ブラジル出身の私たちは初めて和服を着る体験をしました。正直な感想としてはとにかく「重い!」でした。

結婚用の着物だそうで、この重みも整然とした式には似合うものだと感じました。

荷よりも結婚12年目のわたしも妻の色打掛に惚れ直してしまいました。

外国人支援サークルの大脇さんに呼ばれて参加して、貴重な体験ができたと思います。

(2組ものご夫婦の方が婚礼衣装に挑戦されたことは、今までになかったことです。・・・編集者コメント)

## ★ お茶席



● 白川 静子 (呈茶席担当、「USG ボランティア茶道」の責任者)

何とか雰囲気のある明るく楽しそうな呈茶席に仕上げる事が出来、フェスタに参加された多くの人達が、抹茶をいただきに(抹茶を飲むとは言わない)来てくださいました。



みな いっしょうけんめい ちゃわん りょうて お ころろ  
 皆さん、一生懸命、お茶碗を両手で落とさないよう心  
 がけていましたし、  
 お茶の温度は何度ぐらいでしょうか？  
 どう飲んだら良いでしょうか？  
 いただいた後の吸いきりの音って？  
 などなど、いろいろな質問が出て、それらを通して、  
 茶道の心得を優しくゆっくりと伝えることが出来まし  
 た。隣の着物の着付けコーナーで和服を着た方々が、  
 私達の茶席のたたずまいに和服がぴったり合うとのこ  
 とで、こちらにこられて、ポーズを取りながら大変う  
 れしそうに写真を撮ったりして、きっと良い記念にな  
 ったことでしょう。  
 これからも、美味しい抹茶を点てられるように、もっ  
 と稽古に励みたいと思っています……。



のでしょう。  
 現在、外国人野田市民は約1,800人とか、展示コー  
 ーからいろいろな国の人達との交流の輪が少しでも  
 大きくなればいいかなと思った一日でした。

### ★ 料理コーナー

ひぐれ ゆみ こ かんこくりょうり つく たんとう  
 日暮 由美子（韓国料理チヂミ作りを担当）  
 わが きょうしつ かあ たち  
 我ハングル教室のオモニ（お母さん）達で「イカ入

りニラチヂミ」約150食を作りました。  
 とうじつあさ や ぜんじつ なか い  
 当日朝すぐにチヂミを焼けるように、前日に中に入れ  
 る具材をすべて細切りにし準備をととのえました。当  
 日は、具材（ニラ・人参・玉ねぎ・肉・イカ・色どり  
 用としてパプリカ）を大きなボールに入れ、水と薄力  
 粉を加え、両方の（腕から下）手を使い豪快にザック  
 リ、ザックリとよく交ぜ合わせ、それから先は、6個  
 のガス台・フライパンはフル回転で休む間もなく、我  
 教室のオモニ達は、次から次へとチヂミを焼き、昼す  
 ぎにはピークを向えた会場の人々によって、山のよう  
 にあったチヂミはまたたく間に人々の胃袋へと消えて



い  
 行きました。  
 「あゝ、おいしかった」という声を聞いた時は、うれ  
 しさがこみあげてきて、韓国ドラマの「交ぜるのが上  
 手だから、おいしいんだ」というセリフを思い出し、  
 私達オモニもおいしくなるよう心をこめて一生懸命交  
 ぜ合わせたんだよと胸を張る思いでした。  
 チヂミ作り初心者私にとっては、皆さんと一体とな  
 って共にすごした時間、1から教えてもらったチヂミ  
 作りは感謝・感謝の一日でした。

### 展示コーナー ☆ 篆刻体験



みやもと あきこ (フィリピン展示コーナーを担当)  
 かんこく、タイ、アルゼンチン、フィリピンの展示室は  
 各国の写真や民芸品、ポスターなどで紹介され、ほの  
 ぼのとした雰囲気でした。

4人のスタッフと共にフィリピンを担当し、楽しみな  
 がら情報収集、展示資料を作りました。余り知らな  
 かったフィリピンですが、もう行ったことのあるよう  
 な国となりました。

日本語教室の元学習者だったフィリピンのエリカさ  
 んとマイケル君が説明役をしてくれたおかげで、来てく  
 ださった方々のアンケートには「フィリピンへ行きたく  
 くなりました」というものが沢山ありました。フィリ  
 ピンの人とのほんの僅かの会話でも親近感がわいた



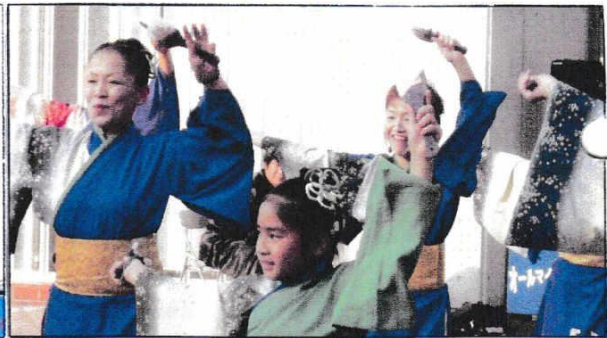


## ☆ アトラクション



● 壁谷 仁奈 (よさこいソーランを踊る。小学6年生)  
 最初よさこいをはいる時、私は近所のお婦さんにさそわれて見学をしていました。少しハマったので、はいりました。そして、途中であきてきたのでやめようかなと思いましたが、でも、続けていたらすごく楽しくなってきました。そして、お母さん(私のお母さんはタイ人で、国さい交流会で日本語を勉強しています。)から、上手になってきたねと言われ、とってもうれしかったので、もっともつうまくおどれるようにしようと思いました。  
 今回のフェスタでは、思った以上にお客さんがたくさんいて、きんちょうしました。なのでうまくおどれるかなと心配していました。おどっている時、少しまちがえたけど、うまくおどれてよかったなと思えます。ほかに、タイやかん国、中国など、いろいろな国の食物があっっておいしそうでした。  
 これからも、もっともつう上手になっておどりたいです。

● 太平洋 ふぐ (芸名。南京玉すだれを披露)  
 私と国際交流との出会いはトラベル英会話です。いまだ英会話は進歩していません。トラベルでなくトラベル英会話です。  
 話はかわり私の一番の希望は玉すだれを通じ世界の人に ENJOY HAPPY。今まで数カ国で演じてきましたが、これからは機会があれば、いろいろな国で挑戦し、出演者としては、一人でも楽しんでいただけることが自分の最大の喜びです。  
 年々フェスタへの参加者もふえ、スタッフ・出演者・観覧者や演目も多く、盛り上がり、良き雰囲気が進められたと思えました。  
 ただ残念に思われることがありました。講堂で飲食したり、駐車場に止めずに、公民館前の路上に駐車したり、せつかくのイベントも苦情が出る事のない様に全員が気をつけましょう。



野田市国際交流協会 〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 野田市役所 企画調整課内  
 TEL: 04-7123-1065 FAX: 04-7122-1557 URL: <http://www.nianoda.com>